

LED ライトの使用をやめてください。



現在、街の街灯、車のライト、自転車のライト、懐中電灯などたくさんのところで LED ライトが増加しています。その LED ライトは人の目、人体、動植物の自然環境に悪影響を与えています。

LED の光は波長の短い青色の強い光です。そのためブルーライトはまっすぐに網膜まで達し、網膜の中心部分の黄斑部を傷つけるため、眼精疲労、網膜の急性障害、加齢黄斑変性症(失明)のリスクが発生します。

LED のブルーライトを浴びると、メラトニンの分泌が抑えられてしまい、睡眠覚醒のリズムが乱れ、睡眠時間が短くなったり、途中で起きてしまうなどの問題が発生します。そうすると、肥満や糖尿病、高血圧などが生じやすくなります。

LED ライトはミトコンドリア(ほとんどすべての生物(動植物や菌類など)の細胞に広く含まれている細胞内構造物の一つ)という細胞内で酸素を消費し、エネルギーを作り出し、生命活動を支えているミトコンドリアを機能不全にします。そうすると、生物の代謝が落ち、活性酸素が増加し、老化の促進、ガンの発生につながります。

東北大学の研究では、ブルーライトを照射したところ、昆虫が死ぬことが判明しました。紫外線のように殺菌ではなく、昆虫が死んでしまうのは、微生物の働きも阻害してしまい、生態系に影響がでる可能性があります。

★今ある地球環境は私たち人間だけのものではありません。微生物からなる目に見えない生命の働きによって支えられているこの地球環境は、私たち人間が守る必要があります。そのことをいつも心に留めて行動してほしいです。



★LED ライトには水を変質させる働きがあります。地中に浸み込んで地盤を脆くさせ、地盤沈下、水道管の破裂、建物の劣化を促進させ大変危険です。

LED の影響 : <http://www1.odn.ne.jp/mu-mew/melink.htm> をご参照ください。